

現球場跡地利用策の提案
「新平和公園」の実現に向けて

平成20年8月

広島商工会議所

はじめに（提案の前提）

1. 現球場跡地利用についてのこれまでの経過をふまえて、広島商工会議所と広島市が合意しうるような一定の方向性を得るために、広島商工会議所都市機能強化委員会において実現の可能性を持つ提案としてとりまとめた。

2. この提案は、平成18年1月に経済4団体で提言した「輝く平和を讃える『未来の希望の丘 - 新平和公園』の創造」の趣旨である――

新しい時代を見据えた魅力あるまちづくり
広島の都市づくりの理念を重視し、地球環境と人類の輝かしい持続を含む「輝く平和」のシンボルとしての活力の場（広場や劇場など）の設置
周辺施設の再編成と統合による新しい意味づけ
十分な議論、確かな計画、確固たる覚悟

を引き継ぎ、「平和によってもたらされる輝かしい未来への活力を体現する集客機能の整備」を中心に活力と多様性を持った都市的賑わいを形成することに主眼を置いた。

3. 利用計画公募で優秀案として選定されている2案についても統合できるよう配慮した。

．提案の骨子

この地域（市民球場跡地を含む一帯）は、平和記念公園と連続して平和都市広島の意味を発現する地域であるとともに、活力と多様性を持った都心としての役割を担うべき地域である。さらに河岸の自然を大きく包含しており、人と自然との調和のあり方を世界に向けて発信していくべき地域である。

こうした基本認識に立って次のことを提案する。

- 1．跡地利用に当たっては、「平和記念公園から世界遺産である原爆ドーム周辺の雰囲気と調和のとれた<緑地ゾーン>」と「都市的な賑わいを創り出す<賑わいゾーン>」の2つの都市空間にゾーニングする。
- 2．平和記念公園からの景観、地域の連続性、河岸と一体化した都市空間づくりのため、商工会議所は現在地から移転することを提案し、その条件を検討する。
- 3．この地域の東側を<賑わいゾーン>と設定し、都心と公園との緩衝・結節の意味を持った新しい都市の軸線として、活力ある多様な施設の整備を提案し、商工会議所は<賑わいゾーン>への移転の可能性を検討する。
- 4．<賑わいゾーン>には、新しい演劇空間としてのミュージカルシアター、レストハウス、映像文化ライブラリー・シアター、アニメーションライブラリー・シアター、青少年センターなどの施設を段階的に設置することを提案する。これら官民による施設の整備を通じて、地域全体の回遊性を高めるとともに、官民協力によるまちづくりのモデルとする。
- 5．<緑地ゾーン>については、利用計画公募で選定されている優秀案をふまえ、河岸緑地と一体化した都市空間づくりを提案する。

．提案の内容

1．全体の計画

地域全体の計画は以下の3点を基本方針とする。

- (1) 平和記念公園、原爆ドームとの連続性を持つこと
- (2) 都心と結ぶ「輝く平和」の場として賑わいのある内容を盛り込むこと
- (3) 河岸側の民間施設の再配置により、ドーム周辺や河岸との一体性を持たせるとともに平和記念公園からのよりよい景観を形成すること

また、広島市の現球場跡地利用の基本方針に沿って「平和記念公園から世界遺産である原爆ドーム周辺の雰囲気と調和のとれた地域」「都市的な賑わいのある地域」の2つの都市空間をバランス良く連続性を持ってゾーニングし、それぞれを<緑地ゾーン>、<賑わいゾーン>とする。

2．<賑わいゾーン>の計画

(1) 商工会議所の移転検討

平和記念公園から原爆ドームを見通す景観の形成や平和記念公園との連続性、河岸との一体化した都市空間づくりのため、商工会議所は<賑わいゾーン>への移転の可能性を検討する。

(2) ミュージカルシアター

広島の拠点性向上と、文化的・経済的活性化を図るため、広域からの集客が可能な本格的ミュージカルシアターを設置することを提案する。

(3) レストハウス

域内外からの来訪者のため、案内・休憩・食事・買物・展示などに対応するレストハウスを設置することを提案する。

(4) アニメーションライブラリー・映像文化ライブラリー

広島独自の文化として定着しつつあるアニメーションの保存・制作スタジオ・視聴スペース等のためのアニメーションライブラリーと映像文化ライブラリーをそれぞれシアターを併設する形で設置することを提案する。

現在、映像文化ライブラリーは中央図書館に併設。(建築面積：3,166㎡)

(5) 青少年センター

小ホール・研修室などを持つ青少年センターを移転設置することを提案する。

現在の施設：ホール・会議室・音楽室等（建築面積：1,860 m²）

(6) ペDESTリアンデッキ

<賑わいゾーン>全体を統合し地域全体の回遊性を図るために屋内連絡路に加えて地域全体を眺望できるデッキを設けることを提案する。

3. <緑地ゾーン>の計画

(1) 河岸緑地と一体化した都市空間づくり

利用計画公募で優秀案として選定されている案をふまえ、河岸緑地と一体化した都市空間づくりを提案する。

(2) 観光バス駐車場

ハノーバー公園北側に観光バス駐車場（20台）を設けることを提案する。

(3) 横断歩道の拡幅整備

平和記念公園、原爆ドーム周辺との連続性を確保するため、相生橋東詰の横断歩道を50mに拡幅することを提案する。横断歩道は御影石などを敷き連続性を強調する。

優秀案（2案）で提案されている施設

- ・折り鶴の保存・展示をする祈念堂
- ・ショップやカフェのあるビジターセンター
- ・主に照葉樹からなる市民の森
- ・レストランやショップなどのある森のパビリオン
- ・水生生物を観察できるアクア・ステージ
- ・地球広場（芝生公園）
- ・地球の道（プロムナード）